

## 採択結果及び採択理由書

教科	音楽（器楽）
----	--------

採択に付した教科用図書：2社（教育出版、教育芸術社）

### 【採択教科用図書】

発行者	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名
教育芸術社	17	音楽 752	中学生の器楽

#### 〔採択理由〕

「音楽科」2社の教科用図書は、新学習指導要領の趣旨に則り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。また、見通しを持ち、学習を進めることができるように学習目標や活動例が示されており、いずれも生徒の充実した学びに資する仕上がりとなっている。

「教育芸術社」の教科用図書器楽編については、リコーダー奏において基本となるポイント（タンギング、運指、サミングなど）をしっかりと練習してから演奏するという基礎的なやり方を踏まえた構成となっている。

また、奏法によって異なる曲の印象について感じ取ったことを基に話し合い、アーティキュレーションを工夫したりすること、曲を聞いてテクスチャに気をつけながら表現を工夫することなど、器楽を通じ、演奏するだけではなく、話し合う活動、表現する活動などに深まりをもたせる工夫がされている。

掲載されているリコーダーのほか、ギター、打楽器、和楽器の紹介や、演奏者、演奏時の姿勢、構え、演奏方法、演奏の編成などの各種写真や演奏のための運指などの提示方法が見やすい。また、各楽器の歴史などが記載され、内容が充実している。

「楽器でMelody」という補助教材などで、器楽と歌唱の関連を、また和楽器の学習では唱歌（しょうが）と和楽器の演奏を通して器楽と鑑賞との関連を図るなど、実感を伴った深い学びができるよう工夫されている。

以上のことから、「音楽(器楽編)」については、器楽の学習を通して生活や社会、文化との関りに目を向け、意識的に考えるための工夫がされ、さらに「主体的・対話的で深い学び」を実現する手立てを示し、実感を伴った学習を展開しやすい「教育芸術社」の教科用図書を採択する。